

これが私の楽器です!

川崎市フランチャイズ
オーケストラ
東京交響楽団の
音のヒミツ
第21回

音楽家にとってなにより大切な楽器を大公開!
東京交響楽団のみなさんはどんな楽器をお使いなのでしょう?



トロンボーン奏者

住川 佳祐
Keisuke Sumikawa

“トロンボーンの神様”
アレッシ監修モデル
僕好みの
響きの豊かな音を
叶えてくれる楽器です

僕が使っているトロンボーンは
ゲッツェン社のエドワーズというブ
ランドです。なかでも、ニューヨー
ク・ワイル首席奏者ジョゼフ・アレッ
シが監修したモデルを使っています
。アレッシモデルが世に出たのは
8〜9年前ですが、当時は試奏し
たものあまり興味がなく、ゲッ
ツェン社の3047AFYという
モデルを使っていました。ところが、
3年ほど前にたまたま楽器屋
でアレッシモデルを試奏したら、
ものすごく良い! 楽器が進化し
て、ゲッツェンよりも自分が思った
通りに吹ける感じがしたのです。
「この楽器だ!」と思い、購入しま
した。

そもそもエドワーズは、スライ
ド、ロータリー、ベルなどパーツごと
に自分の好きなものを選んで組み
合わせる楽器です。ですがアレッ
シモデルは、今までのラインナップ

にないスライドやこ
の楽器専用のマウ
スパイクなど、新た
に開発された完全
なオリジナルモデル
です。他の金管楽
器に比べてトロン
ボーンは作りが単
純なため、パーツの
ほんのわずかな違いで音が全く変
わってしまいます。アレッシモデル
はパーツが年々変化しており、初
期のと今では全く違う楽器と
言ってもいいほど。そこで、昨年末
にさらに新しい楽器に買い換えま
した。

アレッシモデルの魅力は、フォ
ルテで吹いても音が破綻せず、力強
い響きのままで鳴り、なおかつ暗い
音にならない、オーケストラに適
した楽器であること。僕は太い
音、響きの豊かな音が好きで、そ
れを叶えてくれる楽器です。

マウスピースは、グレイゴという
メーカーの、やはりアレッシ監修モ
デルを使っています。内径や深さに
さまざまな組み合わせがあり、僕
は「1C」を使っています。

アレッシは「トロンボーンの神
様」と言われますが、僕にとっても
やはり憧れの存在です。大学生の
時、一度だけマスタークラスのレッ
スンを受けたことがあります。が、
緊張しすぎて、気づいたら終わって
いました(笑)。会えたこと自体が
信じられない体験でした。

東響には昨年3月に入団し、今
年3月に正団員になりました。印
象に残っている演奏会は、昨年4
月、ノット監督指揮でのマーラーの
交響曲第10番とブルックナーの交

響曲第9番の演奏会です。これが
東響の研究員として最初の定期
演奏会でした。ノット監督の音楽
はリハーサルも熱いですが、本番は
もつと熱くなります。その指揮に
オケが一丸となつて食らいついてい
くのをこの演奏会で初めて体験し
て、すごいオーケストラだと心底
思いました。東響のトロンボーン・
セクションは日本一と言われるよ
う、これからも頑張ります。



管の色に注目。通常のトロンボーンは主管やスライドは黄色ですが、こ
れは赤。ネック部とベルをつなぐ支柱はステンレス。ロータリーレバーのサム
レストは木。しかし、同じアレッシモデルを使っている首席奏者鳥塚心輔さ
んの楽器はもう少し赤い木で、さらに最近の楽器はプラスチックとのこと。こ
の材質の変化でも音色が変わるそうです。



ケースの中。直近で使う楽
譜も入っています。



楽器ケース。かわいいへ音記号のタグ
は、シカゴ響を聴きに行った同級生からも
らったおみやげだそう。



アレッシモデルのテナーバストロンボーン。購入して間もない、ピカピカの楽器です! よく見ると、パーツによって管の色が
微妙に違います。つまり、さまざまな金属が使われています。



アレッシモデルのスライドは
赤。つまり銅が多く含まれていま
す。先端部分の黄色との色の違い
が分かります。銅が多いと音が柔ら
かくなります。



スライドの先端につける石突きゴム。
このタイプの違いでも音が変わるそう。
新しく買った楽器は左のタイプに変わっ
ていましたが、以前ついていた右のタイプ
の方が音が良かったため、右をお使いです。

「トロンボーン・セクションはチームワーク、演奏とも
に充実しています」と語る住川さん。それを証明するか
のように、マウスピースは首席奏者鳥塚さんからいた
だいたもの。マウスピースには個体差があり、自分に
とっての最高の1本に出会うために鳥塚さんは「1C」
のマウスピースをたくさんお持ちで、その中で鳥塚さん
には合わせ、住川さんに合うものをもらったそうです。



常に持ち歩いているもの。ケースに入れているの
は、演奏後マウスピースに吹きかけるアルコール(右。
緑色の液体)。鉛筆。演奏後スライドを拭くための
ティッシュ。その左は、透明のホース。ケースにしま
う際、楽器のネジが動かないよう固定するために使用。
ホースの下は、石突きゴム。すぐに穴が開いてしま
うため予備を持ち歩いています。ポーチにしまってカバン
に入れているものは、管の中を拭くスワブ(ポーチの前)。
オイル4種とグリス。楽器の部分ごとに異なるオイルを
塗ります。白い丸い棒は、リム。マウスピースと同じサイ
ズで、練習に使います。